

新たな時を動かす起業家、発表！

第23回

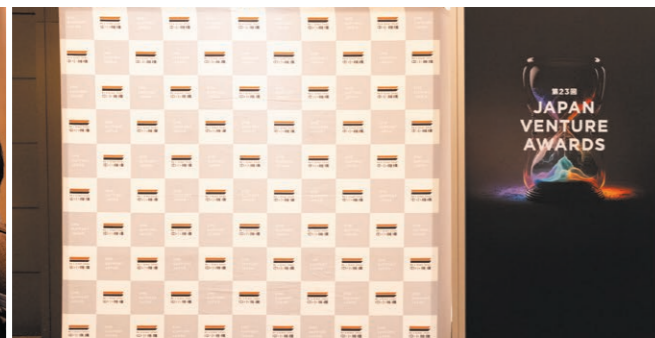
JAPAN VENTURE AWARDS


Be a Great Small.
中小機構

表彰式レポート

2023.12.14 Thu. 【開演】13:30～／表彰セレモニー 15:40～
【会場】虎ノ門ヒルズフォーラム5F

【主催】独立行政法人中小企業基盤整備機構（担当：創業・ベンチャー支援部 創業・ベンチャー支援企画課）
【運営事務局】第23回JVA運営事務局 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-10 ADEXビル6F [TEL] 03-3292-5088 [E-mail] jva@operation-desk.jp



新たな時を動かす 起業家、発表！

Japan Venture Awardsは、
革新的かつ潜在成長力の高い事業や、
社会的課題の解決に資する事業を行う、
志の高いベンチャー企業の経営者を称える表彰制度です。
2000年以来、344名のベンチャー経営者等が受賞し、
それぞれの事業とともに
日本を支えるリーダーへと成長を遂げています。
次なる日本のリーダーとして果敢に挑戦する起業家を、
ロールモデルとして広く紹介することで、
創業機運を高め、日本における創業の促進を図ります。



表彰名

経済産業大臣賞

事業内容、活動実績、経営者の資質や社会的な評価(貢献度)などを総合的に評価の上、他の企業の模範として相応しい極めて優秀な経営者。

科学技術政策担当大臣賞

社会的な課題の解決に向けて、革新性に優れた科学技術などを基に、
将来の社会や産業にイノベーションを起こす可能性を持つ、他の企業の模範として相応しい極めて優秀な経営者。

中小企業庁長官賞

事業内容、活動実績、経営者の資質などを総合的に評価して、特に優秀な経営者。

中小機構理事長賞

優秀な事例のうち、公的支援策などを有効活用した模範的な事例となる経営者。

SDGs特別賞

優秀な事例のうち、特にSDGsに貢献する事業を行う模範的な事例となる経営者。

地域貢献特別賞

優秀な事例のうち、地域経済の活性化や地域課題の解決に貢献する事業を行う模範的な事例となる経営者。

JVA審査委員会特別賞

上記以外で、事業その他の特徴と経営者を総合的に評価して、特別表彰を行う。

JVCA特別奨励賞

上記以外で、創業後5年以内の将来更なる活躍が期待される経営者。

ベンチャーキャピタリスト奨励賞

活動内容、活動実績、イノベーションへの貢献度、社会への貢献度などを総合的に評価の上、
今後の活躍が期待されるベンチャーキャピタリスト(事業会社の投資担当者を含む)。

第23回 Japan Venture Awards

▶ 応募対象

創業後概ね15年以内^{※1}であり、高い志を持ち、自立する中小企業など^{※2}の経営者又は代表者

※1 社歴に関わらず、経営の多角化や事業転換により、新事業展開した場合を含む。 ※2 企業を主な対象といたしますが、NPO法人、LLC(合同会社)などの応募も可能とします。

▶ 中小企業について

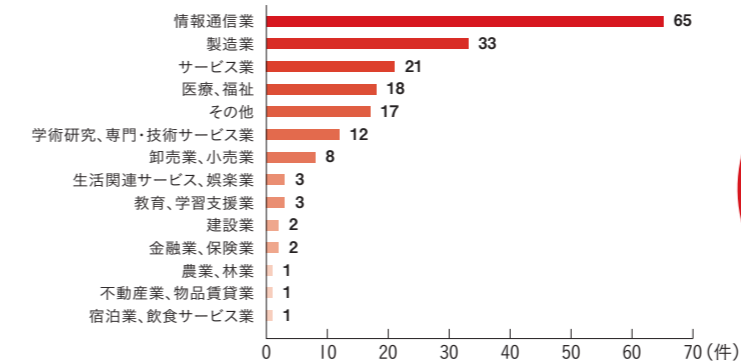
募集対象とする中小企業などは、下記のいずれかに該当する個人事業主、法人又はそれらによって構成される組織とし、活動主体が国内にあるものとします。(中小企業基本法より)

- 製造業その他 ……資本金3億円以下、又は常時使用する従業員が300人以下
- 卸売業 ……資本金1億円以下、又は常時使用する従業員が100人以下
- 小売業 ……資本金5千万円以下、又は常時使用する従業員が50人以下
- サービス業 ……資本金5千万円以下、又は常時使用する従業員が100人以下

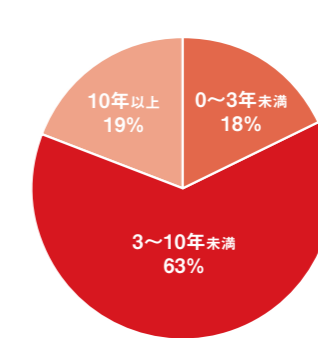
▶ 第23回応募状況

幅広い業種・社歴・年代層の経営者から応募いただき、多様性に富んだ経営者の発掘につながっています。

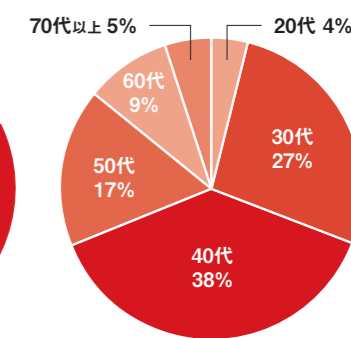
■ 事業内容



■ 設立年数



■ 経営者の年代



▶ 審査基準

経営者の資質、成長性、革新性、社会性。

▶ 審査員

有識者で構成された第23回JVA審査委員会で審査。

第23回JVA審査委員会(敬称略・順不同)

- 東出 浩教 氏 早稲田大学大学院経営管理研究科(早稲田大学ビジネススクール)教授 / 一般社団法人日本ベンチャー学会 理事
- 小野 由理 氏 株式会社三菱総合研究所 デジタルイノベーション部門 副部門長
- 高乗 正行 氏 株式会社チップフンストップ 代表取締役社長
- 坂本 祥純 氏 国立研究開発法人科学技術振興機構 スタートアップ・技術移転推進部 参事役(兼)スタートアップ出資・支援室長
- 田島 聡一 氏 一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会 会長 / 株式会社ジェネシア・ベンチャーズ 代表取締役・General Partner
- 吉田 剛 氏 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 イノベーション推進部長

※肩書きは、全て表彰式(12月14日)時点

ベンチャーキャピタリスト奨励賞

▶ 応募対象

現在、ベンチャー企業に対して支援を行っており、今後も継続して活動するベンチャーキャピタリスト

※直近1年間の新規上場案件における投資実績等を動案し、ベンチャーキャピタリスト奨励賞審査委員会による推薦を合わせて実施します。

▶ 審査基準

これまでのベンチャー企業に対する支援活動内容・実績、イノベーション・社会への貢献度について審査を行います。

▶ 審査員(敬称略・順不同)

- 東出 浩教 氏 早稲田大学大学院経営管理研究科(早稲田大学ビジネススクール)教授 / 一般社団法人日本ベンチャー学会 理事
- 市川 隆治 氏 一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター 理事長
- 郷治 友孝 氏 一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会 会長 / 株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ(UTEC) 代表取締役社長 CEO・マネージングパートナー
- 高乗 正行 氏 株式会社チップフンストップ 代表取締役社長

※肩書きは、全て表彰式(12月14日)時点

13:30 - 13:35

開会挨拶

今年でJVAは23回目の開催となる。中小機構では、企業の成長段階に応じた多様な支援を提供している。AIやチャットボットを使った先進的な支援ツールの開発から、起業家精神の育成と起業の裾野を広げる取り組み、さらにはグローバルスタートアップの創出支援まで、多角的な支援メニューの構築に挑戦している。中小機構は、スタートアップ企業と同様に新しい課題やニーズに適時適切に対応し、これからも果敢に新たなチャレンジを続けていく。

▶独立行政法人中小企業基盤整備機構 理事 平泉 洋



13:35 - 14:00

オープニングキーノート

世界が知らない世界をつくれ

当社の事業沿革とJVA審査委員長賞受賞後についてお話ししたい。私たちが開発したマイクロ波技術は省エネで効率の良い製造プロセスの実現や新素材開発、カーボンニュートラルへの貢献など化学産業の革新と世界のモノづくりの変革に寄与する。創業当時「マイクロ波の産業利用は困難」という業界の常識があったが、当社は技術を磨き、実績を重ね、さまざまな企業と協業し壁を乗り越えてきた。そして、JVAで受賞した2016年にIPOの準備を始め、新型コロナウイルスの流行やロシアのウクライナ侵攻の影響を受けながらも2022年に新規上場を果たした。ノミネートされた方のなかには上場準備に入っている会社やプロダクトマーケットフィットができず苦労している会社もあると思う。今は、とにかく一つひとつ課題をこなし、一生懸命に事業を行うことで、道は開ける。共に、世の中に大きなインパクトを与える事業を行っていければと思う。

▶マイクロ波化学株式会社
代表取締役社長CEO 吉野 巖 氏
Microwave Chemical



14:00 - 14:30

VC×投資先ピッチ

ベンチャーキャピタリストと投資先の経営者が一緒に登壇し、キャピタリストと起業家のパートナーシップについてトークを繰り広げました。

▶株式会社環境エネルギー投資
代表取締役社長 河村 修一郎 氏
Energy Environment Investment

▶アスエネ株式会社
Co-Founder&代表取締役CEO 西和田 浩平 氏
Asuene

▶Beyond Next Ventures 株式会社
代表取締役・General Partner 植波 剣吾 氏
Beyond Next Ventures

▶エレファンテック株式会社
代表取締役社長 清水 信哉 氏
Elephantech

モデレーター
▶一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会
最高顧問 仮屋 菌 聡一 氏
JVCA
Japan Venture Capital Association



14:40 - 15:40

ノミネーター's ストーリーズ

今回ノミネートされた起業家が登壇し、最前線を行く意気込みを語りました。

●ピッチ+ディスカッション

モデレーター
▶株式会社羽生プロ 代表取締役社長 著作家・メディアプロデューサー 羽生 祥子 氏
HABUPRO



15:40 - 16:35

表彰セレモニー



主催者挨拶 独立行政法人中小企業基盤整備機構 理事長 豊永 厚志

JVAは、優れた起業家や今後の活躍が期待されるベンチャーキャピタリストを表彰し、わが国のベンチャービジネスに対する関心を高め、チャレンジ精神を醸成していくことを目的としている。23回目の開催となる今回は、187名の起業家からの応募があった。ノミネートされた方々が取り組まれている事業の内容は、さまざまな分野にわたり、いずれも今日直面する社会的課題の解決に資する将来性のあるものばかりと見受けられた。JVAに参加された方々の中から今後とも、素晴らしい経営者が輩出されることを祈念している。

表彰式



- 〈プレゼンター〉
- 経済産業大臣賞 経済産業副大臣 岩田 和親 氏
 - 科学技術政策担当大臣賞 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 審議官 徳増 伸二 氏
 - 中小企業庁長官賞 中小企業庁長官 須藤 治 氏
 - 中小機構理事長賞 独立行政法人中小企業基盤整備機構 理事長 豊永 厚志
 - SDGs特別賞 独立行政法人中小企業基盤整備機構 理事長 豊永 厚志
 - 地域貢献特別賞 独立行政法人中小企業基盤整備機構 理事長 豊永 厚志
 - JVA審査委員会特別賞 第23回JVA審査委員会 委員長 東出 浩教 氏
 - JVCA特別奨励賞 一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会 会長 田島 聡一 氏
 - ベンチャーキャピタリスト奨励賞 独立行政法人中小企業基盤整備機構 理事長 豊永 厚志

来賓祝辞



経済産業副大臣 岩田 和親 氏

昨年、岸田政権は新しい資本主義の実現に向け、スタートアップ育成5か年計画を発表した。革新的で社会課題解決に繋がる事業を行う経営者を表彰するJVAは時宜にかなった取り組みである。今回受賞されたみなさまが取り組まれている事業は世界規模の社会課題解決に寄与する革新的なものであり、世界的な景気の後退や不透明さなどの課題が懸念される中、日本の未来を切り開いていくものであると信じている。受賞された皆様のさらなるチャレンジに期待している。



内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 審議官 徳増 伸二 氏

科学技術によるイノベーションの推進を成長戦略の第一の柱として掲げる岸田内閣において、新しい資本主義の担い手であるスタートアップは極めて重要なものと位置づけられている。内閣府は、革新性に優れた科学技術等をもとに、将来の社会や産業にイノベーションを起こすことが期待される経営者を表彰し、研究開発型スタートアップの取り組みが広く世の中に認知され、研究開発成果の社会実装がさらに加速することを期待している。

受賞スピーチ



株式会社セルージュン 羽藤 晋 氏

このような賞をいただき身が引き締まる思いです。病気というものには国境がなく、再生医療・バイオテック企業が世界の患者様に治療を届けたいというのが我々に課された一番重要なミッションだと思っています。そして、日本発の技術である再生医療・iPSを世界に普及させることも我々に課されたもう一つの使命だと考えています。そのため、今後も研鑽を積み、会社を成長させ、成果を出し続けていきたいと考えております。



アイリス株式会社 沖山 翔 氏

このような歴史のある場で責任のある賞をいただき大変ありがたく存じます。みなさまからいただいた期待を励みに、科学技術の発展の一旦を担い、科学の研究だけではなく、社会実装を通じて、さらに日本の医療そして世界の医療に貢献していきたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。

審査講評



第23回JVA審査委員会委員長 東出 浩教 氏

毎年継続して審査に関わらせていただいておりますが、次々に素晴らしい起業家の方々が現れてきて本当に驚いております。今回の審査を振り返ると、大きくトレンドが動く不確実性の高い中でも、起業家のみなさまが今後成長する見込みのあるマーケットでの需要を捉えようとされていることを、強く実感いたしました。現在の夢の大きさにとられず、もっと大きな夢を見ていただきながら、グローバル市場で大きく成長して一つのロールモデルになっていただければと考えております。



受賞者



第23回JVA 受賞者



経済産業大臣賞

羽藤 晋氏
株式会社セルージョン
代表取締役社長 CEO



科学技術 政策担当大臣賞

沖山 翔氏
アイリス株式会社
代表取締役



中小企業庁長官賞

後藤 将氏
TYPICA Holdings 株式会社
代表取締役CEO



中小企業庁長官賞

島津 敦好氏
株式会社カウリス
代表取締役



中小機構理事長賞

上野 公嗣氏
BABY JOB株式会社
代表取締役社長



SDGs特別賞

清水 映輔氏
OUI Inc.(株式会社OUI)
代表取締役



SDGs特別賞

徳島 泰氏
インスタリム株式会社
代表取締役CEO



地域貢献特別賞

小林 稜平氏
株式会社ElevationSpace
代表取締役CEO



地域貢献特別賞

近藤 洋祐氏
株式会社電脳交通
代表取締役社長 CEO



JVA審査委員会特別賞

池原 真佐子氏
株式会社 Mentor For
代表取締役



JVA審査委員会特別賞

佐藤 康行氏
株式会社フロンティア・フィールド
代表取締役社長兼CEO



JVCA特別奨励賞

鈴木 裕士氏
株式会社エマルジョンフローテクノロジーズ
代表取締役社長

ベンチャーキャピタリスト奨励賞



伊藤 紀行氏
DIMENSION株式会社
Business Producer



宇佐美 篤氏
株式会社東京大学
エッジキャピタル
パートナーズ(UTEC)
Partner and Board Director



福井 俊平氏
Archetype Ventures
Managing Partner

※社名・役職等は、受賞時点のものを記載

世界の角膜移植待機患者に治療を届けたい

経済産業大臣賞



HATOU SHIN
羽藤 晋

株式会社セルージョン
代表取締役社長 CEO



眼科医として角膜移植を専門に携わってきましたが、ドナー不足により、移植待機患者は世界で1300万人ほど蓄積しています。この課題解決に向け、iPS細胞を用いた角膜の再生医療研究に取り組み、開発した新しい治療法を社会実装し、角膜移植が受けられない世界中の患者様に治療を届けるため起業を決意しました。

●PROFILE

[1973年生まれ]慶應義塾大学医学部卒。眼科専門医、再生医療認定医、医学博士。眼科医として角膜移植を専門に診療に携わる。博士課程在学中に角膜内皮細胞の再生医療を研究。その後、開発したiPS細胞由来角膜内皮代替細胞を利用した水疱性角膜症治療法の社会実装をめざし、2015年に株式会社セルージョンを設立。

●座右の銘

忍耐は全ての扉を開く

●会社所在地

〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町8番6号 H'0日本橋小舟町801

●事業紹介

セルージョンはiPS細胞を利用した新しい角膜再生医療を創出することで、角膜移植アンメットメディカルニーズを解決し、全世界の角膜失明患者への貢献をめざしています。

●創業年

2015年

●コメント

私はもともと角膜移植を専門とする眼科医でした。角膜移植やその主要な適用疾患である水疱性角膜症には角膜ドナー不足や手術侵襲などいくつもの課題があり、それを解決したいという思いで研究を始めました。さらに、臨床の現場で私が一生かけて角膜移植をしても、せいぜい数千人の患者様しか治療できない、であるならばiPS細胞技術を用いた再生医療で全世界数百万人の治療に貢献したい、という思いに至ったのが起業の動機です。

会社の特徴

多様な仲間と共に
「もっと自由で、もっと笑顔が見える世界」の実現に挑む

セルージョンは慶應義塾大学医学部眼科学教室発の再生医療スタートアップです。国内・海外を問わず多様な研究開発人材、金融業界や製薬企業出身者がワンチームでビジネスを推進しています。グローバルでの市場開拓も進めており、中華圏においてはライセンス契約を締結し、他地域においてもパートナーシップを検討中です。

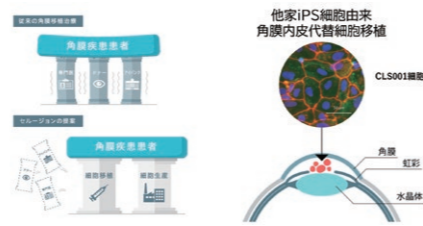


▲ 多様なバックグラウンドのチーム

事業・サービスの強み

iPS細胞を利用した革新的な再生医療を創造し、
世界の角膜患者への貢献をめざす

角膜移植適用症例の半数を占める水疱性角膜症に対して再生医療等製品CLS001を開発しています。CLS001は他家iPS細胞を独自技術により分化誘導した角膜内皮代替細胞で、単一iPS細胞由来ゆえの安定品質、安定供給、高生産性の特徴を持ち、冷凍保存も可能なため世界の患者様に治療を届けることができます。



▲ 角膜移植課題を解決する新治療法

受賞ポイント

眼科医として角膜移植の課題を認識し、その課題解決を図るため、低侵襲かつドナー眼に異存しない、iPS細胞を用いた治療法の研究・開発に取り組む。iPS細胞を用いた角膜移植の技術については先進性があり、全世界の角膜失明患者への貢献を目指すビジョンを掲げ、自らのリスクと責任を負って課題に挑戦し続ける姿勢が起業家のロールモデルとして極めて高く評価された。

みんなで共創できる、ひらかれた医療をつくる。

科学技術政策担当大臣賞



OKIYAMA SHO
沖山 翔

アイリス株式会社
代表取締役



インターネットや論文のオンライン化によって、「医学知識」は世界中の医師の間で共有されるようになりました。しかし「医学技術」はまだ共有ができていません。AIの技術でこの課題を解決し、専門医師の熟練技が世界中で共有されるような、そんな医療の姿を目指しています。

●PROFILE

[1985年生まれ]2010年東京大学医学部卒業。日本赤十字社医療センター(救命救急)での勤務を経て、ドクターヘリ添乗医、災害派遣医療チームDMAT隊員として救急医療に従事。2015年 医療ベンチャー株式会社モドレー、執行役員として勤務。2017年 アイリス株式会社 創業、代表取締役。国立研究開発法人 産業技術総合研究所 医用画像ワーキンググループ発起人、救急科専門医、日本救急医学会AI研究活性化特別委員。

●座右の銘

アイリス社名の由来: Art is long, life is short. (医療の道は長く、人生はかくも短い。)

●会社所在地

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-2-1 八重洲セントラルタワー7階

●事業紹介

AI技術を用いた医療機器の開発・製造・販売及び人工知能(AI)技術の研究開発
2022年12月に感染症AI判定機器nodocaの発売・保険適用が開始

●創業年

2017年

●コメント

日本最東端の南鳥島で島に一人の医師を務め、また、都心の病院やドクターヘリの現場で救急医に従事する中で、社会の医療格差を自身で体感することとなりました。医師一人で全ての診療科・病気の専門家になることができなくとも、離島や僻地にでも整備でき、小さくて持ち運びができ、そしてスマートフォンのように進化し続けるAI医療機器を通じて格差のない、豊かな医療を実現したいと考えています。

会社の特徴

医師・エンジニア・薬事・経営、
多様な分野のバックグラウンドを持つメンバーが集結

現役医師である代表・沖山をはじめ、医療従事者、厚生労働省・経済産業省ほかの行政出身者、AI世界大会の優勝者複数、大手医療機器メーカー出身者など多数のプロフェッショナルが揃い、深層学習技術(AI技術)を活用し、医師のもつ匠の技をデジタル化するAI医療機器を開発しています。



▲ スタートアップW杯日本代表に選出

事業・サービスの強み

匠の技を再現するAI搭載の咽喉撮影用カメラを開発。
2022年12月上市、保険適用開始

「咽喉診察」は、全世界の医療現場で、日常的に最も多く行われている診療のひとつです。アイリスが開発した咽喉撮影用カメラは、咽喉診察をデジタル化しAI技術を用いて、その特徴やその他の身体所見から総合的に疾患を検知する、全く新しい概念の医療機器です。第一弾としてインフルエンザの判定AIを搭載しています。



▲ AI医療機器 nodoca

受賞ポイント

僻地医療や救命現場での経験を経て、医療資源や医師のスキルの差によって引き起こされると感じた地域間の医療提供の格差の解決を図るため、人工知能技術を用いた感染症診断用AI医療機器を開発。誰もが納得できる医療、誰もが医療に貢献出来る仕組みを実現するため、テクノロジーを用いて課題解決を推進していく点が、起業家のロールモデルとして高く評価された。

中小企業庁長官賞



GOTO MASASHI
後藤 将

TYPICA Holdings 株式会社
代表取締役CEO



事業が発展すればするほど、関わる全ての人の物心両面の幸福と世界のサステナビリティを一貫して実現できる企業のシンボルをつくるためにTYPICAを運営しています。TYPICAが新時代のベンチャー企業のロールモデルとなることで、志を同じくする企業が次々に群生していく将来を牽引していくことが願いです。

●PROFILE

[1984年生まれ]大阪出身。19歳で起業し2009年よりソーシャル・イノベーション事業開始。2010年盛和塾入塾。2012年世界経済フォーラムよりGlobal Shapersに選出。2014年関西学院大学 非常勤講師に就任。2019年コーヒーと世界経済の持続的発展をテーマにTYPICAを創業。現在はアムステルダムを生活拠点に、世界中の同志とコーヒー産業の革新に挑戦。趣味は料理とマラソンと読書。

●座右の銘

「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」宮沢賢治

●会社所在地

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場4丁目12番8号関西心斎橋ビル8階

●事業紹介

コーヒー生豆を麻袋1袋から直接取引できる世界初のダイレクトトレード・オンラインプラットフォームを運営。世界71カ国・地域の生産者とロースターをつないでいる。

●創業年

2019年

●コメント

創業後わずか4年間で世界55カ国における2桁億円のコーヒー原材料の売買と流通を実現できた背景には、成し遂げるまでもに挑戦を続ける同志たちの存在があります。その結果、Forbes JAPAN「日本の起業家ランキング2023 TOP20」に選出。TYPICAは2021年グッドデザイン賞BEST 100、特別賞グッドフォーカス賞を受賞。2023年経済産業省の「J-Startup」に選定されました。

会社の特徴

生産者の収入向上を実現しコーヒー産業全体を革新する
新たな国際取引市場を創出

コーヒーの買取価格は先物市場で決定されるため、2千万軒のコーヒー生産者の7割弱を占める中小規模の生産者の約半数が今も貧困状態にあります。TYPICAのプラットフォームは、先物市場に代わるコーヒーの国際取引市場。直接取引を民主化することで生産者の収入向上を実現し、コーヒー産業に革新をもたらしています。



▲ 直接取引を民主化する国際市場

事業・サービスの強み

経済成長と社会的インパクトを一貫して実現する
ビジネスモデルでグローバルに急成長

海外展開から1年半で世界5拠点(日、蘭、韓、台、米)において事業を展開。他の追随を許さない成長速度で、既に海外4拠点の売上が全体の半分ほどを占めています。創業時より世界基準の方針のもと、経済成長と社会的インパクトを一貫して実現できるビジネスモデルを追求し、サステナビリティへの取組にも注力しています。



▲ 透明性を確保しSDGsにも貢献

受賞ポイント

19歳で起業したのち、社会課題解決に強く関心を持ち「人類の幸福と経済の持続的発展」を追求する経営者を志すようになった。起業当初よりグローバルなコーヒー取引に取り組み、直接取引を可能にするプラットフォームを構築。公正な取引と価格の透明性を確保することで、コーヒー産業の構造改革を図り、経済成長と社会的インパクトを一貫して実現しようとする姿勢が評価された。

中小企業庁長官賞



SHIMAZU ATSUYOSHI
島津 敦好

株式会社カウリス
代表取締役



創業前にセキュリティサービスを提供する中で、認証技術はハッキングを行われうる技術であり、かつデバイスによって利用できる技術も異なるなどの限界点に直面しました。認証ではなく、普段の振る舞いをデータベース化し、異常を検知するサービスの方が事業継続性が高いという仮説を持ち、カウリスを創業いたしました。

●PROFILE

[1978年生まれ]京都大学卒業後、株式会社ドリコムに入社。セールス担当として、同社IPOを経験。2010年、オンライン英会話学習のロゼッタストーン・ジャパン株式会社入社。法人営業部を立ち上げる。2014年よりCapy社入社。事業部長として不正ログイン対策のソリューションの提案を大手企業に提案。同時にメディアを通じたセキュリティ意識向上の啓蒙活動を実施。2015年12月、株式会社カウリス設立。

●座右の銘

GRIT

●会社所在地

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル4F FINOLAB内

●事業紹介

不正アクセス検知サービス「Fraud Alert」の開発・提供。

●創業年

2015年

●コメント

インターネットの急速な広がりによって、金融機関のオンラインサービスにおいて、なりすまし等の不正が拡大しています。実際にクレジットカードの不正使用金額は、2012年は68億円でしたが、10年後の2022年には約7倍の450億円を越えています。当社では、このような不正を検知して、皆さまが安心して金融機関のサービスを利用できるように不正アクセス検知サービス「Fraud Alert」を提供しています。

会社の特徴

日本のマネーロンダリング対策の
インフラを目指す

弊社は約40名のスタートアップ企業ですが、ビジネスチームとエンジニアチームが一丸となって、金融犯罪の課題を解決するために、不正アクセス検知サービスの提供をしています。また、社内だけでなく、顧客である金融機関や監督省庁である金融庁とも情報連携を行ない、国民の財産を守るための活動を行なっています。



FraudAlert

▲ カウリスが提供するサービス

事業・サービスの強み

Fraud Alertユーザー企業間での
ブラックリストを共有

最大の特徴は、実際に不正が行なわれた端末情報を、ブラックリストとしてユーザー企業間で共有できることです。金融犯罪は日々、手口が変化するため、金融機関が1社1社で不正対策を行なうことは容易ではありませんが、ブラックリストをユーザー企業間で共有することで、不正を未然に防いだり、二次被害を抑えています。



▲ 業界を横断して情報を共有

受賞ポイント

大学卒業後からスタートアップに勤務し、複数社で法人営業等に従事。企業勤務の経験を踏まえた仮説に基づき、セキュリティ対策として異常を検知するサービス「Fraud Alert」を開発し、金融機関に提供。自身の行動力を活かした顧客との共創関係の構築、金融取引に関する規制当局との関係構築など自身の行動力を発揮して事業をリードしていく姿勢が評価された。

すべての人が子育てを楽しめる社会

中小機構理事長賞



UENO KOJI
上野 公嗣
BABY JOB株式会社
代表取締役社長



社会が大きく変わる中で、「仕事と育児の両立」は多くの方が抱える課題になってきています。私たちは、仕事をしながらでも”ゆとりある育児”ができる環境を目指し、子どもとの時間や保護者自身の自由な時間を確保するために、子育て支援サービスを提供しています。

●PROFILE

[1978年生まれ]和歌山県出身。大阪経済大学経営学部卒業。武庫川女子大学臨床教育学研究科卒業。ユニ・チャーム株式会社に10年勤めた後、株式会社S・S・Mを起業。当初は待機児童問題解決のために、地域型保育事業を中心に全国で45施設を運営。2018年にはBABY JOB株式会社を立ち上げ、子育て支援サービスを提供。他、自身でも保育士免許を取得し、現在は全国小規模保育協議会理事長を務める。

●座右の銘

為せば成る

●会社所在地

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6丁目7番8号 大昭ビル7階

●事業紹介

子育て支援サービスの提供
・保育施設向けおむつとおしりふきのサブスク「手ぶら登園」
・保育施設探しをサポートする「えんさがそっ♪」

●創業年

2018年

●コメント

私たちは「すべての人が子育てを楽しめる社会」を目指し、子育て支援サービスの提供を行っています。保育施設向けおむつとおしりふきのサブスク「手ぶら登園」は、その第一歩として始めたサービスです。今後もおむつに限らないサービスの拡充はもちろん、子どもの成長過程に合わせた様々なサービスを展開することで、子育てをするすべての人たちに寄り添っていきたくと考えています。

会社の特徴

ビジョンに共感したメンバーたちが主体的に考え、動く会社

当社には「すべての人が子育てを楽しめる社会」を実現したいという強い志を持ったメンバーが多数在籍しています。そのため、自発的に新しいサービスの提案や既存サービスの改善案が常に飛び交っている状況です。2022年に開始した保育施設探しをサポートするサイトも、メンバーの意見から生まれたアイデアです。

事業・サービスの強み

子どもと向き合う時間を生み出す、保育施設向けおむつとおしりふきのサブスク「手ぶら登園」

手ぶら登園とは、保育施設に直接紙おむつとおしりふきが届け、定額で使い放題になるサービスです。保護者は「紙おむつに名前を手書きして持参する」という手間が無くなり、保育士はおむつの「個別管理の手間」が無くなるという、双方の課題を解決するサービスです。現在、全国4,260施設(2023年11月時点)で導入がされています。



▲ 保育施設向けおむつ・おしりふきのサブスク



▲ 手ぶら登園の仕組み

受賞ポイント

自己資金で会社を立ち上げ、待機児童問題の改善を図るための保育園事業を経て、保育施設向けおむつのおしりふきのサブスク「手ぶら登園」など、多忙な保護者の負担を軽減する事業を展開。自身の出身である大手衛生用品メーカーと良好な関係を築くとともに、地方自治体の補助金制度など公的支援を有効に活用した事業展開により、女性活躍推進等の社会課題の解決に寄与する点が評価された。

世界の失明を50%減らす!

SDGs特別賞



SHIMIZU EISUKE
清水 映輔
OUI Inc.(株式会社OUI)
代表取締役



OUI Inc.は医学・ビジネス・工学のスペシャリストでチームアップしたスタートアップです。この最強のチームが、世界中の眼科専門医・医療機関・医療機器メーカー・製薬会社・投資家の皆様と力を合わせ、「世界の失明を50%減らす」という壮大なミッションを達成すべく日々、さまざまな挑戦を実施しています!

●PROFILE

[1987年生まれ]慶應義塾大学医学部卒の眼科専門医・医学博士。2016年OUI Inc.起業、ベトナムボランティア時に発案の、スマホで眼科診療を可能とする医療機器「Smart Eye Camera (SEC)」を開発、眼科診断AIの研究開発も行う。現在、慶應義塾大学医学部眼科学教室特任講師兼任。第5回ジャパンSDGsアワード・IAPB The Eye Health Heroes awardなど国内外多数の表彰を受賞。

●座右の銘

Be the man you want to be

●会社所在地

〒107-0062 東京都港区南青山2-2-8 DFビル 510

●事業紹介

・スマホ眼科診断医療機器「Smart Eye Camera」開発と販売
・遠隔診療・自動診断AI医療機器の開発と販売
・眼科の知識の啓発事業

●創業年

2016年

●コメント

私は、現役眼科医の身でありながらスタートアップを起業しました。医師は非常に専門性の高い職種であり、その分医療の課題解決によるインパクトは大きいです。社会的課題をベンチャーを組織して解決していく「産業創生」も医師の役割の一つであると考え、医療現場から離れることなく、医師で起業したことのメリットデメリットをよく理解して「世界の失明を50%減らす」ことを目標に、事業を前に進めております。

会社の特徴

エビデンスファーストに「実学」を実践し、現場への持続的な還元を続けます

OUI Inc.は慶應義塾の精神である「実学」をフルに実践しています。エビデンスファーストに「独立自尊」何事も自分の判断・責任のもとに実践し「気品の源泉・知徳の模範」人格を備えた社会の先導者となる事を狙い「半学半教」どのメンバーからも学び続け、不可能な理由を探さず、挑戦し続ける姿勢を大事にしています。

事業・サービスの強み

スマホ医療機器・遠隔診療プラットフォーム・診断AIを組み合わせた新しい眼科診断

SECはスマホアタッチメント型眼科医療機器であり、スマホがあれば誰でも、場所や時間を選ばずに眼科診療が可能となります。またSECアプリや画像ファイリングのプラットフォームを活用し、現場と世界の眼科専門医をつなぐことにより、世界中どの地域にいる患者さんでも眼科診断を届け、失明を減らすことが可能です。



▲ OUI Inc.のメンバー



▲ SECスリットランプモデル

受賞ポイント

国際眼科協力の一環でベトナム農村部のクリニックを訪れた際、高性能な医療機器がないために十分な医療が受けられない状況を痛感する。この医療課題の解決のため、スマートフォンに取り付けることで眼科疾患を診断できる医療機器の開発に取り組み、SDGsの「3. すべての人に健康と福祉を」「10. 人や国の不平等をなくそう」のゴールに貢献している点が評価された。

誰もが義足を手に入れられる世界をつくる

SDGs特別賞



TOKUSHIMA YUTAKA
徳島 泰
インスタリム株式会社
代表取締役CEO

instalimb

開発途上国での爆発的な糖尿病の増加等により、途上国を中心とした4,000万人以上が義足にアクセスできず、またその多くが貧困の連鎖から逃れられずにいます。私は、長らく解決不可能とされてきた、この開発途上国における義足の問題を解決し、必要とする全ての人々が義足・義肢装具を手に入れられる世界をつくりたい。

●PROFILE

[1978年生まれ]京都府出身。慶應義塾大学政策・メディア学科修士課程修了。液晶部品のハードウェアベンチャーの創業メンバーとして、また大手医療機器メーカーでデザイナーとしてものづくりを学ぶ。その後、2012年よりJICA海外協力隊としてフィリピンに駐在し、開発途上国における義足という社会問題に直面する。日本帰国後に3Dプリント義足製造ソリューションの開発をスタートさせ、2018年にインスタリム株式会社を創業。

●座右の銘

ピンチはチャンス

●会社所在地

〒130-0003 東京都墨田区横川1-16-3 Center of Garage Room 6

●事業紹介

3D x AIによる、超低価格・高品質な義足・義肢装具のデジタル製造ソリューションの開発と、インド・フィリピンにおけるデジタル製造の義足・義肢装具の製造・販売。

●創業年

2018年

●コメント

私たちは世界初で、3D x AIによる、義足のデジタル製造・大規模販売を成功させた、テック・スタートアップです。開発途上国に住まう普通の人々が購入でき得る価格で、満足できる品質の義足は世界で私たちのものだけだと自信を持っています。すでにインド・フィリピンにて2,000名以上の方に私たちの義足を使っただいており、このうちの多くの方が新たに仕事を得て、人生を再起動させることに成功しています。

会社の特徴

開発途上国から世界的社会課題を解決し、リバーシノベーションを実現する

世界初の義足のデジタル設計・製造ソリューションをフルスクラッチで開発するR&Dチームを中心とした、日本本社が約30名、義足を現地製造・販売する、製造チーム・営業チームが主体のフィリピン約50名と、同じくインド約30名、計100名超のメンバーが一丸となり、世界中に義足を届けるため、日々奮闘しています。



▲ 世界初のデジタル製造による義足

事業・サービスの強み

3D x AIによるデジタル製造だからこそ可能になった、全く新しいビジネスモデル

- ① AI利用による超簡単設計を実現した、オリジナルの義足設計用3D-CAD
- ② 義足の強度を担保する、オリジナルの義足製造用3Dプリンタ+材料
- ③ デジタル製造の利点を活かし、遠方の患者さんに義足を届けられる遠隔製造技術
- ④ それらを最大限に活かす、D2C集客+対面製造による全く新しい製造・販売手法



▲ デジタル義足製造ソリューション

受賞ポイント

途上国では糖尿病が蔓延し、合併症による脚の切断が珍しいことではないという現状を知り、途上国の人々が購入可能な低価格の義足を、3Dプリンタや3D-CADを駆使して開発・製造。義肢装具を利用することで下肢切断者の社会復帰を後押しするという社会性の高い事業を展開しており、SDGsの「1. 貧困をなくそう」「3. すべての人に健康と福祉を」のゴールに貢献している点が評価された。

誰もが宇宙で生活できる世界を創る

地域貢献特別賞



KOBAYASHI RYOHEI
小林 稜平
株式会社ElevationSpace
代表取締役CEO

ELEVATION
SPACE

「誰もが宇宙で生活できる世界を創り、人の未来を豊かにする」をミッションに掲げ、2040年までに有人宇宙技術を獲得することを目指しています。そのために、まずは”行って帰ってくる”ための大気圏再突入・回収技術を無人小型衛星で獲得し、ポストISSを担う企業として、宇宙環境利用の場を提供していきます。

●PROFILE

[1997年生まれ]秋田高専在学中の19歳の時に宇宙建築に出会い人生が変わる。東北大学にて建築学と宇宙工学を専攻し、修士号(工学)を取得。人工衛星開発プロジェクトや次世代宇宙建築物の研究に従事し、宇宙建築関連コンペで日本1位、世界2位を獲得。大学院在学中の2021年2月、株式会社ElevationSpaceを起業。アジア地域から世界を変える30歳未満のリーダーForbes 30 UNDER 30 Asiaに選出。

●座右の銘

Who Dares Wins (敢えて挑んだものが克つ)

●会社所在地

〒980-0845 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉468-1 東北大学マテリアル・イノベーション・センター401号室青葉山ガレージ

●事業紹介

国内民間企業初の大気圏再突入技術獲得により、宇宙で実証・実験→地球に帰還→回収可能な無人小型衛星による宇宙環境利用・回収プラットフォーム「ELS-R」を提供。

●創業年

2021年

●コメント

人間の生活圏が宇宙へ広がる将来においては、地球と宇宙を往復する技術のみならず、衣食住やエンターテインメントなど生活を支えるあらゆるものが宇宙で必要になります。宇宙での実証機会そのものを増やし、宇宙環境を利用しやすいものに変える国内唯一のソリューションとして、先駆的な役割を果たしてまいります。また、ふるさと東北を宇宙産業で活性化させることを目指し、「東北から宇宙へ」、事業を展開していきます。

会社の特徴

常識にとらわれない宇宙開発で、「東北から宇宙へ」

人工衛星開発には、自動車や航空機など様々なものづくりの経験を生かすことが可能です。異分野のノウハウを結集し、従来の概念に囚われない新しい視点での研究開発を行っています。全国から優秀なエンジニアが仙台に集まり、組織が拡大することで、新たな産業となり、東北経済を“宇宙”で発展させることを目指します。



▲ ELS-Rのイメージ

事業・サービスの強み

高頻度・短リードタイムで、誰もが気軽に宇宙環境を利用できる

ELS-R事業は、宇宙での実証・実験環境を提供し、衛星が地球に帰還することで成果物をお客様へお返しするという国内唯一のサービスです。ELS-R技術の応用により、有人宇宙施設で行った実験成果物を地球に持ち帰る機会も増やすことで、宇宙環境を誰でも気軽に利用できるものに変革していきます。



▲ 大気圏再突入イメージ

受賞ポイント

人が宇宙と地球を自由に行き来する世界の実現、宇宙環境の利用を取り巻く課題解決を図るため、宇宙空間へ打ち上げた衛星を地球に帰還させ回収する「ELS-R」事業等を展開する東北大発スタートアップ。「東北から宇宙へ」というポリシーの下、東北地方に拠点を構え、宇宙産業で東北経済を活性化させることを目指す姿勢が評価された。

地域貢献特別賞



KONDO YOUSUKE
近藤 洋祐

株式会社電腦交通
代表取締役社長 CEO

電腦交通

自分を必要としてくれ、人生かけて向き合うお題をいただいた、タクシー業界へ恩返し。登る山が決まったならば、あとは身体が動かなくなるまで、必死で駆け上がるだけ。電腦交通という組織を通じて、人々が移動する仕組みをアップデートし続けます。

●PROFILE

[1985年生まれ]徳島生まれ、メジャーリーガーを目指しアメリカ留学から帰国後、吉野川タクシーに入社、2012年に代表取締役役に就任し、債務超過寸前の状態からV字回復を実現、2015年電腦交通を創業し代表取締役役に就任。徳島大学客員教授。

●座右の銘

すべては積み重ね。

●会社所在地

〒770-0831 徳島県徳島市寺島本町西1-5 アミコ東館6階

●事業紹介

- ・クラウド型タクシー配車システム「DS」
- ・タクシー会社の配車業務受託運営サービス「Taxi CC」
- ・自治体向けデマンド交通運行管理システム「DS Demand」

●創業年

2015年

●コメント

メジャーリーガーに憧れて渡米し、夢破れ辿り着いたタクシー業界で、すべてを捧げて人々が移動する仕組みの最先端を研究しています。国内タクシー不足問題を解消すべく、配車最適化システムや副業乗務員採用支援などの新規事業を開始し、全国で交通難民を生まない仕組みづくりを加速させています。国内の元タクシードライバー兼企業再生経営者とスタートアップCEOの二刀流で、世界に誇るモビリティ企業へと成長させていきます。

会社の特徴

徳島から全国へ
人口減少と高齢化時代の地域交通を支える

本社のある徳島を始め、東京支社、福岡・岡山の配車センターなど、日本中から集まったメンバーが地域交通を維持・存続させるビジネスに挑戦しています。累計27億円の資金調達を実施、三菱商事、JPインベストメント、ENEOSなど各界の大手企業に株主として参画頂き今後の地域交通に必要な事業創りに取り組んでいます。



▲ 徳島本社オフィスの風景

事業・サービスの強み

タクシー業界のDXを
技術/実装力/実行力で推進する

- ・クラウド型タクシー配車システム「DS」: 毎年200%ペースでタクシー車両への導入が拡大
- ・タクシー会社の配車業務受託運営サービス「Taxi CC」: システムを活用した業務効率化&コスト削減
- ・自治体向けデマンド交通運行管理システム「DS Demand」: 廃止・縮小する地方交通インフラの代替手段を提供



▲ クラウド型タクシー配車システム

受賞ポイント

家業であるタクシー会社の運転手としての経験を踏まえ、タクシー業界の課題をIT化によって解決することを目的に起業。自治体や事業会社等と連携を図ることで、地域の交通インフラを確保し、地域住民の生活の利便性向上や雇用創出等、地域の活性化に取り組む姿勢が評価された。

JVA審査委員会特別賞



IKEHARA MASAKO
池原 真佐子

株式会社Mentor For
代表取締役

Mentor For

私たちのサービスは「女性の活躍だけがゴール」ではありません。女性管理職育成を起点としながら、その先には性別関係なく、どのような事情やライフイベントがあっても、人が能力を開花させ可能性を発揮していける組織風土、社会を目指しています。目指す社会に向け、歩みを止めず様々な壁を突破していきます。

●PROFILE

[1981年生まれ]早稲田大学、同大学院修了(教育学修士)後、PR会社、NPO、コンサル会社で勤務。在職中にINSEADへ(EMC)。その後起業し、妊娠するも臨月で配偶者が海外赴任となり、2年半ワンオペ育児で仕事と育児を両立。この出来事が契機となり、2018年、女性リーダー育成のためのメンター事業にピボット。家族の都合で欧州に移住することになるも、日独を毎月往復しつつ事業継続。現在は日本に帰国し事業拡大に邁進中。

●座右の銘

「翼を持たずに生まれてきたのなら、翼をはやすためにどんな障害も乗り越えなさい」
If you were born without wings, do nothing to prevent them from growing.

●会社所在地

〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町37-11 大久保ビル503

●事業紹介

リーダー・人生経験が豊富なミドルシニアを「社外メンター」へ育成、女性管理職を育成したいものの社内にロールモデル・メンターが不在の企業へマッチングし、D&Iを推進。

●創業年

2014年

●コメント

これまで、女性・母親としての役割期待に葛藤したり、事業推進とライフイベントとの両立には大きな苦労や壁がありました。しかしこれら全てが、現在の事業の原体験であり、原動力になっています。「メンター」が「組織や社会の当たり前」になることで、一人一人の人生のストーリーが循環し、次世代をエンパワーしていく、そう信じています。

会社の特徴

全国各地に散らばり、埋もれていた
「キャリア知見」という暗黙知に価値を与え可視化

意思決定層のジェンダーギャップが顕著な日本において「キャリア経験や知見を次世代に循環させる」ことで、女性を始めとして多様な人が活躍していける組織・社会を創っていくことをミッションにしています。若手、ミドルシニア、地方在住者、育児やライフイベントとの両立等、様々なメンバーが活躍している会社です。

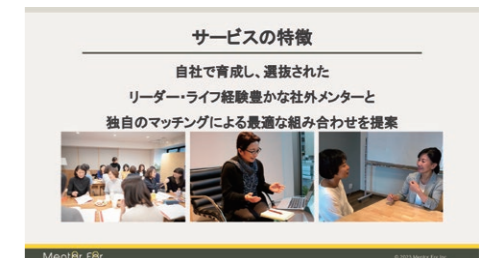


▲ 様々な業種、業界の顧客に伴走

事業・サービスの強み

日本初のD&I推進に特化した
社外メンター事業

自社で育成・選抜したメンターを企業の女性にマッチングし、リーダーへの意欲を引き出しキャリア課題に伴走します。企業内の女性管理職育成の際に課題として挙がる「ロールモデル不足・管理職へのイメージが湧かない」という課題を解決。また、社外メンターという新しい文化を創りミドルシニアの副業の場も創出します。



▲ 自社で育成・選抜したメンター

受賞ポイント

女性メンターを育成し、企業の女性社員とマッチングすることを通じて、女性リーダー育成における組織内のロールモデルの不足という課題の解決を図ろうとしており、社会的なニーズ、社会的意義が高いサービスを展開している点が評価された。

JVA審査委員会特別賞



SATO YASUYUKI
佐藤 康行

株式会社フロンティア・フィールド
代表取締役社長兼CEO

医療機関にITに精通した人材がいないこと、セキュリティを意識過ぎるあまり医療業界のデジタル化は他産業に比べ非常に遅れています。また家族ががんで他界する中、医療の提供側と享受側で医療情報の非対称性があることを痛感しました。これらの課題解決のために、医療のデジタル化が絶対に必要と感じ、起業を致しました。

●PROFILE

[1967年生まれ]NTT入社後、ドコモシステムズへの出向などを経て、NTTドコモモバイルデザイン推進室にて複数のプロジェクトをリード。日本アルトマークにて医療情報提供ビジネスの責任者を務めたのち、医療と通信の知見を活かして社会に役立つ事業を営みたいという思いから、49歳でNTTドコモを退職して起業。

●座右の銘

夢なき者に成功なし

●会社所在地

〒105-0023 港区芝浦1-1-1 浜松町ビルディング14F

●事業紹介

医療専用スマートフォン「日病モバイル」を展開。ナースコール受信、医療情報基盤として電子カルテ・医療機器等のアプリケーションを搭載でき、医療業務のDXを促進。

●創業年

2016年

●コメント

NTTにおけるIT・通信・ネットワーク分野での知見・経験、また日本アルトマークでの医療IT業界の知見は誰にも代えがたいものだと思っております。より医療をデジタル化し、より良い医療を実現していくべく、弊社メンバーと日々格闘しております。



会社の特徴

医療のICTプラットフォームを創り
医療をデジタル化する

「医療のICTプラットフォームを創り医療をデジタル化する」をビジョンに掲げる当社は、全国の医療機関に対しセキュアな環境下でデジタル化を実現するスマートフォンサービス「日病モバイル」を提供しております。医療機関における業務の効率化や働き方改革を実現してまいります。



▲ 日病モバイルイメージ図

事業・サービスの強み

日病モバイルを医療業務のハブに!
～All Connected～

日病モバイルは、ナースコール、電子カルテ、医療機器等と連携し医療業務のハブとなる存在としてご利用いただけます。更にIP-VPNというセキュアなネットワーク構成のため、安全な環境で提供しています。医療業務のハブとして今後も更に医療機器の機能連携を目指し、医療に無くてはならない存在を目指していきます。



▲ ～All Connected～

受賞ポイント

通信会社において経験・技術を積み重ね、医療業界のデジタル化・DX化の遅れている医療業界の課題を解決すべく起業。医療機関専用のスマートフォンサービス「日病モバイル」の提供を通じ、医療現場のDX化を図り、医療従事者の労働環境の改善、病院内のインフラ向上に貢献している点が評価された。

JVCA特別奨励賞



SUZUKI HIROSHI
鈴木 裕士

株式会社エマルジョンフローテクノロジーズ
代表取締役社長

使用済み核燃料の元素分離技術として開発された革新的な溶媒抽出技術「エマルジョンフロー」、この原子力研究から生まれた唯一無二の優れた技術を、レアメタルを取り巻く社会課題解決に活用したいという強い思い、それが私たちの原動力です。

●PROFILE

[1975年生まれ]2003年に日本原子力研究所(現、日本原子力研究開発機構/JAEA)に入所以来、約17年間にわたり中性子利用研究に従事。2018年度にNEDO SSAを受講後、JAEA内にイノベーション推進室を設立し、原子力分野から生まれた研究成果の社会実装支援を開始。その活動において共同創業者の長縄弘親氏との出会いがあり、エマルジョンフローの普及を目指した「株式会社エマルジョンフローテクノロジーズ」を設立。

●座右の銘

Go beyond the limit

●会社所在地

〒319-1106 茨城県那珂郡東海村白方7番地5

●事業紹介

革新的溶媒抽出技術エマルジョンフローを活用したリチウムイオン電池のレアメタルリサイクル技術の開発と、それを活用したレアメタルリサイクル事業。

●創業年

2021年

●コメント

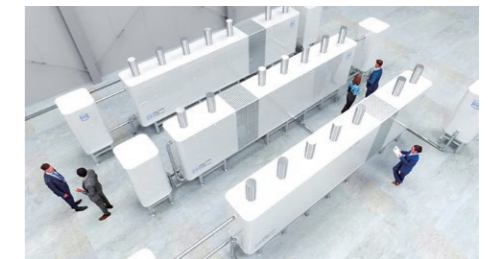
JAEAにおいて中性子利用研究に取り組んでいた元研究者。「原子力研究の成果が社会実装されずに埋もれていく」現実を目の当たりにし、それを自ら解決すべく研究者から起業家の道へ。「自らの研究成果でレアメタルを取り巻く社会課題を解決したい」という共同創業者の長縄の強い思いに共感しエマルジョンフローテクノロジーズの起業を決意。ビジネス経験はなくとも、持ち前の突破力と柔軟性で事業を推進。



会社の特徴

研究開発と社会実装をドライブできる
経験豊富な人財が事業を推進

「技術だけではビジネスは育たない、ビジネスが技術を育てる」という考えから、創業当初より、プロセス開発やプラント開発に専門性の高い研究開発人材だけでなく、経営企画・管理やグローバルビジネスなどに経験豊富なビジネス人材を積極的に採用し、超高速でLIBリサイクルの技術開発と事業化を両輪で推進しています。

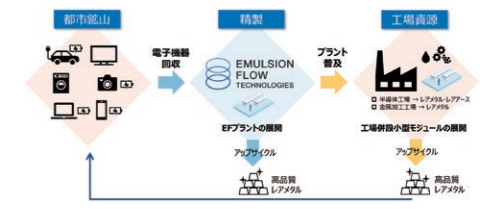


▲ エマルジョンフロープラント

事業・サービスの強み

エマルジョンフローで
レアメタルを取り巻く社会課題解決に挑戦

革新的溶媒抽出技術「エマルジョンフロー」は低コスト、高効率かつ高純度にレアメタルリサイクルを実現する技術です。このエマルジョンフローを都市鉱山で活用するという発想で、リチウムイオン電池のレアメタルリサイクルの事業化を実現し、レアメタルを取り巻く社会課題を解決します。



▲ エマルジョンフローで資源循環

受賞ポイント

原子力研究から生まれた革新的な技術を活かしてレアメタルを取り巻く社会課題の解決を目指している。先進的な技術によって、将来性が高く、今後も拡大することが予想されるレアメタルのリサイクル市場に挑戦している点が評価された。



伊藤 紀行 ITO NORIYUKI

DIMENSION株式会社
Business Producer

●PROFILE

早稲田大学政治経済学部卒業、グロービス経営大学院経営学修士課程(MBA, 英語)修了。楽天、EdTechスタートアップ等での海外事業推進を経て、株式会社ドリームインキュベータからDIMENSIONファンドのMBOに参画。国内スタートアップへの投資・分析、上場に向けた経営支援に従事。事業創出の知見発信のため、ビジネススクールにて「ベンチャー戦略」の講師を担当。著書に「スタートアップ一起業の実践論」

●会社所在地

〒105-6415 東京都港区虎ノ門1丁目17番1号 虎ノ門ヒルズビジネスタワー 15階 CIC Tokyo

●活動概要

ライフスタイル、エンタメ、海外展開を目指すビジネスを軸に、顧客の強いニーズを捉えた全国のスタートアップに出資しています。また、新事業創出の知見発信のため、経営大学院の「ベンチャー戦略」クラスに登壇、拙著「起業の実践論」も出版しました。出資先カバー社のように、世界を目指す志高い企業を支援していきます。

●代表的な支援先企業

COVER, SLOGAN, BABY JOB, PIVOT, 400F, Biophilia, Nyle, RiceWine, SISI, growba, LiLz 他

DIMENSION

受賞ポイント

BABY JOB株式会社への支援をはじめ、時宜を得た分野での投資活動を目指すリード投資家として多面的な支援を行い、今後更なる活躍が期待される投資家として評価された。



宇佐美 篤 USAMI ATSUSHI

株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ(UTEC)
Partner and Board Director

●PROFILE

東京大学大学院薬学系研究科にて神経科学、薬理学を研究。博士号取得、薬剤師。三菱総合研究所にてコンサルティング業務に従事した後、2013年10月よりUTECに参画。ライフサイエンス・バイオ分野を中心に共同創業4社を含む15社超の技術系スタートアップの事業化支援を行う。大学院時代には脳科学若手の会の創設に関わり、現在、厚生労働省MEDISOサポーター・AMED課題評価委員等を務める。

●会社所在地

〒113-8485 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学南研究棟(アントレプレナーラボ) 3F

●活動概要

国内外の大学・研究機関発のシード・アーリーステージの技術系スタートアップに対して、経営・開発・ファイナンス等の観点で創業段階からの事業化支援を行う。優れたScience・Technologyをもつスタートアップの国境を超えた事業化支援を通じて、地球規模での産業革新・社会課題解決に貢献していきたい。

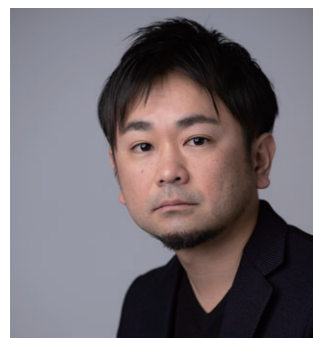
●代表的な支援先企業

OriCiro Genomics, Repertoire Genesis, EditForce, bitBiome, Bugworks Research 他

UTEC

受賞ポイント

オリシロジェノミクス株式会社の米モデルナによるM&AによるExit等、IPOと共にExit形態として今後の発展が期待されるM&Aにおいて大きな成果を挙げていること、ライフサイエンス、バイオを中心とする分野での投資で顕著な実績を挙げていることが評価された。



福井 俊平 FUKUI SHUMPEI

Archetype Ventures
Managing Partner

●PROFILE

NTT Dataにて企画営業として特定レジャー業界向け大規模システムを担当後、2008年の起業・会社経営を経て、2010年よりPepperdine University MBA Programに入学。LAのNPOにて日本の作品に特化した映画祭「LA EigaFest」の立ち上げや、サンフランシスコのVCでのインターン経験を経て、2013年12月Archetype Venturesを立ち上げ。

●会社所在地

〒106-0045 東京都港区麻布十番2-8-10麻布松屋ビル4F

●活動概要

2014年にB2B Tech特化型のFundを立ち上げ投資支援活動を開始。現在4つのファンドを運用し累計50社弱に投資支援を実行。定例ミーティングを持ちながら伴走するスタイルをとり、Bad News Firstで起業家と最も近い距離でのご支援をベースとしています。

●代表的な支援先企業

ABEJA, Hacobu, Leapmind, Alpaca, Xica, Mazrica, UPWARD, FLUX, TechTouch, Hokan, Autify, Wevnal 他

archetype* ventures

受賞ポイント

直近1年間の代表的な上場企業のひとつである、株式会社ABEJAへの支援をはじめ、社会課題の解決に寄与するようなスタートアップに対して資金提供に留まらないハンズオン型の支援を行っている点が評価された。

中小企業庁	国立研究開発法人科学技術振興機構	国立研究開発法人産業技術総合研究所	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
独立行政法人情報処理推進機構	株式会社日本政策金融公庫	株式会社日本政策投資銀行	株式会社商工組合中央金庫
日本商工会議所	全国商工会連合会	全国中小企業団体中央会	一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター
公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会	全国イノベーション推進機関ネットワーク	福岡市	全国地方新聞社連合会
日本経済新聞社	一般社団法人日本ベンチャー学会	一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会	オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会
一般社団法人交通都市型まちづくり研究所			



EY新日本有限責任監査法人

EYは、「Building a better working world(より良い社会の構築を目指して)」をパーパスとしています。クライアント、人々、そして社会のために長期的価値を創出し、資本市場における信頼の構築に貢献します。150カ国以上に展開するEYのチームは、データとテクノロジーの実現により信頼を提供し、クライアントの成長、変革および事業を支援します。アシュアランス、コンサルティング、法務、ストラテジー、税務およびトランザクションの全サービスを通して、世界が直面する複雑な問題に対し優れた課題提起(better question)をすることで、新たな解決策を導きます。EY新日本有限責任監査法人は、EYの日本におけるメンバーファームであり、監査および保証業務を中心に、アドバイザーサービスなどを提供しています。

有限責任 あずさ監査法人



KPMG/あずさ監査法人は、監査やアドバイザーなどの専門性の高いサービスの提供を通じて、経済社会に信頼をもたらし、企業や社会の変革に向けた取組みを支援しています。IPOの分野においては、豊富な経験を持つ専門家を配置し、海外ネットワークを含めた情報・知識の蓄積を行うとともに、一元的なサービスを提供しています。また、社会価値が創造されると考えられる新しい革新的な技術やアイデアを有する企業及び起業家を発掘・育成・支援することを目的としてインキュベーション部を設置し、大学発ベンチャー企業及び産学連携組織を中心にインキュベーション支援活動を行っています。さらにKPMGジャパンの活動としてプライベートエンタープライズセクターにおいてグローバルで戦えるスタートアップの発掘・育成支援を行っている。

INNOVATION LEADERS SUMMIT (運営:株式会社プロジェクトニッポン)



大手企業のアセットとスタートアップのアイデアやテクノロジーをマッチングし、グローバルイノベーションを生み出すことを目的に経済産業省後援のもと発足。2022年11月に開催した第10回ILSは、リアルとオンラインのハイブリッドイベントとして開催し、約2万名が参加。メインの大手企業とスタートアップとの新事業創出プログラム「パワーマッチング」は2890件の商談が行われ、そのうち3件に1件が協業案件となる高精度なマッチングを実現。アジア最大級のオープンイノベーションカンファレンス。

日刊工業新聞社



日本のモノづくりを見つめ、伝え続けて一世紀。創業の理念「工業立国」「技術立国」を胸に一貫して日本の産業界とともに歩み、日本の科学技術の発展や産業競争力の強化、中小企業振興に努めてまいりました。新聞を核に産業総合情報機関としての機能をさらに高め、創業・ベンチャー促進をはじめ、活力と創造力あふれる次世代の産業界づくりに貢献していきます。

アントレサロン (運営:銀座セカンドライフ株式会社)



アントレサロンは、ベンチャー企業向けにレンタルオフィス・コワーキングスペースを提供しています。首都圏に15施設展開しており、13,000社登録があります。アントレサロンは、初期費用0円・月額3,800円(税別)で、事務所の登記場所やワークスペースを確保することができます。登録すると全てのアントレサロンのデスクや会議室が利用可能です。また専門家が常駐しているため、経営相談やセミナーを随時行っています。行政の創業支援施設としても認定されているため、入居企業は法人設立時の登録免許税が半額になったり、助成金や融資の面で優遇されます。スタートアップ企業にお勧めな施設です。



日本スタートアップ支援協会

- 1.70名の上場企業の経営者がメンタリングで経営課題の解決と企業価値の最大化を実現します。
- 2.協会顧問のエンジェル、VC、事業会社、銀行からの最短最速での資金調達を実現させます。
- 3.スポンサーや顧問企業からトップラインにつながる上場企業を随時紹介します。

月刊事業構想

月刊事業構想

月刊事業構想は、事業構想大学院大学出版部が発行する雑誌&オンラインメディア。新事業開発、イノベーション、地方創生を主テーマとしています。地方自治体首長と幹部に圧倒的な閲読率があるほか、企業の新規事業開発責任者が読者の過半を占めます。特に、企業トップ、起業家、政治家、官僚といったキーパーソンの構想と具体的事例に焦点を当てた記事が充実しています。また、デザイナー、アスリート、芸術家、クリエイターなど異分野の構想家もとりあげ、多様な視点を提供しています。イノベーションへのアイデア、アライアンス・パートナーの開発などの情報源となっています。

特定非営利活動法人インデペンデンツクラブ



“一人でも多くの人と一緒に、1社でも多くの公開会社を育てる”

- 1.ベンチャー企業支援育成のための各種イベント運営・企画 — 起業家による「事業計画発表会」の運営企画
- 2.ベンチャー企業支援育成のための広報事業
- 3.ベンチャー企業支援育成に関する各種調査・研究・情報提供事業
- 4.その他目的を達成するために必要な事業

イノベーションズアイ (運営:イノベーションズアイ株式会社)



イノベーションズアイは、挑戦し続ける企業・起業家・ビジネスパーソンを応援するBtoBビジネスメディアです。元気で活力ある企業を「発掘」し、メディアから「発信」し、ビジネスネットワークで企業の「発展」につなげます。【会員登録数:1.4万超、連携パートナー数:80社超】



STARTUPS SELECTION®

新進気鋭な若手スタートアップ起業家・ベンチャー経営者にスポットライトを当てていく番組連動プロジェクトのスタートアップセレクション。2021年に東京(首都圏)エリアからスタートし、2022年4月に瀬戸内(中国・四国)エリア、同年7月に北海道へと拡大しております。ざっくばらんに起業家の本音が聞ける、堅すぎず、砕けすぎずのビジネス・トーク・バラエティとしてみなさまへお届けしてまいります。

中小機構は、経済産業省所管の中小企業政策全般にわたる総合的な実施機関として、成長ステージに合わせた多様な支援で中小企業の成長を応援しています。

中小機構の主な創業・ベンチャー支援事業

創業支援等事業計画機能強化事業

起業家教育事業、創業機運醸成イベント(TIP*S)、起業相談チャットボット(起業ライダーマドル)を通じ、創業に関心が低い者への創業の裾野の拡大や創業関心者への意識啓発・情報提供等を行い、創業に至るまでの各段階における課題に対応します。また、機構の創業支援ノウハウの提供により、認定自治体における担当者の支援スキル向上や支援ノウハウの蓄積を図り、創業支援等事業計画の実施機能の強化に貢献します。



インキュベーション

全国29か所のインキュベーション施設を運営しています。オフィス・ラボ・工場などニーズに合わせた事業スペースを提供する「ハード」と、インキュベーションマネージャー(IM)と呼ばれる常駐の専門家が成長・事業化を支援する「ソフト」の両面で、新しいビジネスへの挑戦を応援します。



FASTAR

IPOやM&A等を視野に、成長志向のスタートアップを対象としたアクセラレーションプログラムです。専門家(専任パートナー)による約1年間の伴走支援型メンタリングによって事業計画をブラッシュアップし、VC等からの資金調達や大企業との事業提携に向けたマッチングを促進することで、成長加速化をサポートします。



スタートアップ挑戦支援事業

スタートアップや起業予定の方のあらゆる課題や悩みにアドバイスし支援します。戦略立案・事業計画・資金調達・資本政策等のご相談に、中小機構の経験豊富な専門家が、何度でも無料で対応します。オンラインで全国どこからでも相談可能です。



J-GoodTech(ジェグテック)

日本の中小企業と国内大手企業・海外企業をつなぐビジネスマッチングサイトです。国内外の企業へ情報を発信し、最適なビジネスパートナーを見つけ、製品開発や新規取引に結びつけられるように登録企業を支援します。



ファンド / ベンチャーデット債務保証

ベンチャーキャピタルや投資会社が組成するファンドへの出資(LP出資)を通じ、ベンチャー企業やさらなる成長を目指す中小企業を支援します。また、事業計画を認定されたベンチャー企業が、経済産業大臣に指定された金融機関等から行う一定の借入に対し、機構が借入額の50%を保証することで、事業化・収益化までの間が長く、かつ多額の資金を必要とするディープテックベンチャーの資金調達を後押しします。



その他の中小機構の支援メニュー

経営相談

中小企業・小規模事業者の経営に関する様々な課題やお悩みに、各分野の専門家が無料で何度でも対面・電話・メールとご希望の方法でお応えします。



ハンズオン支援(専門家派遣)

経営課題の解決に取り組む中小企業に専門家を派遣し、アドバイスを実施します。様々な分野での資格や経験を持つ3,000名以上の外部専門家を登録しており、適切な専門家を派遣し、中小企業者の方々に主体的に取り組んでいただくことで、支援終了後も自立的・持続的に成長可能な仕組み作りをサポートします。



海外展開支援

海外展開を目指す中小企業を、初期の計画段階から進出後のフォローアップまで、ハンズオン支援や海外CEO商談会をはじめとした幅広い支援メニューでサポートします。



eコマース活用支援

ECに取り組む中小企業者の方々に対して、国内に加え、海外向け(越境EC)のニーズに対応したオンライン講座の配信やセミナー・マッチングイベントの開催、専門家によるアドバイスを提供します。



共済制度

小規模企業の経営者や個人事業主のための退職金制度である「小規模企業共済」と、取引先の倒産による連鎖倒産を防ぐための「経営セーフティ共済」(中小企業倒産防止共済)を運営しています。



事業承継

事業承継に関する情報提供や各種ツール提供をはじめ、講習会や専門家による相談対応等、中小企業の円滑な事業承継に向けて様々なサポートを行っています。



J-Net21

中小企業向けのイベント・セミナー、助成金など経営に役立つ情報満載のポータルサイトです。

